

【事例13】 工賃向上に向けた取組

施設名	就労継続支援B型 MINA AMIGO（大子町北田気）		
設置者	医療法人 直志会		
定員	14名		
利用者数	23名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：14,725円	R4：14,636円	R5：33,350円 (16,793円)
主な作業内容	黒毛和牛（常陸牛）繁殖、畜産ヘルパー（畜産農家への支援）		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 地域貢献につなげる取組みを考える

- ・大子町ならではの取組みを行いたい（畜産業と障害者とのコラボ）
- ・高齢化・人手不足に悩む畜産農家への出張・手伝い（牛舎清掃、給餌など）
→「利用者のやりがい」「地域貢献」とともに、相互理解につながる

■ 福祉的支援はもちろん「経営マインド」が必要

- ・利用者を「単なる安い労働力」にしたくない
→利用者数に応じた頭数管理等を十分に行い、収益をあげる努力
- ・利用者の体力等に応じて、新たに「しめ縄づくり」を開始（地元の伝統を継承するとともに、新たな収入源）
- ・「利用者及び職員のモチベーションをどう上げるか」考えることも大切



訪問当日に行われていた
「しめ縄づくり」

その他

- ・大子町は過疎化・高齢化が進む。障害者も役割を担っていかないと地域産業が大変。
※令和7年1月1日現在の太子町における高齢化率（65歳以上人口率）：50.7%（県計：31.0%）
- ・施設内では約30頭の牛を管理。利用者は牛舎内の清掃、給餌、堆肥製造等に従事。
- ・製造する堆肥は地元農家や小学校の花壇用などに無償配布（利用者が堆肥を撒く手伝うこともある）
→利用者や施設の取組みの周知・PRにつながっている



牛糞による堆肥づくり

施設外観



牛舎内の様子①



牛舎内の様子②



牛舎内には子牛の姿も



牛床の大鋸屑を入れ替えたところ

